

1. 開会

事務局	(それぞれの資料についての確認、会議成立、傍聴人0人の報告。各団体内で退職・異動により新たに2名の委員が交代したことの説明・報告。)
-----	--

2. 市長あいさつ

3. 議事

○委員紹介

交代の委員の紹介。市出席者自己紹介。

○会長あいさつ

(1) 西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)について(協議)	
会長	まずは、議事(1)西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)について、教育・保育部会で協議された。部会長から報告をお願いします。
委員 (教育・保育部会長)	<p>(資料1を基に説明、報告。)</p> <p>①教育・保育部会員の構成を説明 ②部会開催の経過・協議内容等を報告)</p> <p>最終案の報告を受け、内容を協議した結果、教育・保育部会として別添にある「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」を全員一致で承認した。</p> <p>また、カリキュラムについては、国において、幼稚園教育要領や保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂作業中であること、今後の現場での運用において改善点が出てくるなど、見直しが必要となることが想定されるため、適宜、見直し等の検証作業を行うことを附帯意見とした。</p> <p>以上、私の方からの部会の報告を終わり、詳細については、事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局 (学校教育課)	<p>(別添、「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」を説明)</p> <p>①基本方針の説明 ②カリキュラムの構成、方向性等を説明)</p> <p>現場の幼稚園教諭、保育教諭、保育士を対象とした本カリキュラムの説明会を1月に開催し周知を図るとともに、今後、定期的</p>

	に研修を、適宜、実施し現場で活用できるよう広めていく。
会長	<p>部会長、事務局の報告・説明について、御質問や確認があればどうぞ。</p> <p>「心情」とは、どういう意味なのか。</p>
事務局 (学校教育課)	<p>「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」(PDFファイル6ページ下段)に「心情・意欲・態度の表現について」に記載している。</p> <p>「心情」は、子どもたちに最初に育ってくる気持ちであり、遊び始めのものとか心が動き始めたもの、こんなことが楽しいとか、こういうことをすることを楽しんでいきたいなとかいう心が動き始めたことを「心情」と捉えている。</p>
委員 (教育・保育部会長)	<p>「保育所保育指針」や「幼稚園教育要領」にもあるが、幼児の場合は、「心情」、「意欲」、「態度」を育てましょうと。</p> <p>「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」の中では、先ほどの事務局の説明のあったページから2ページ後(PDFファイル8ページ中段)の「写真の読み取りについて」にもあるが、「何か面白いことをしているな、これって面白いのかなという心の動きを刺激しましょう」ということと考える。</p> <p>加えて、「意欲」については、「ちょっとやってみようかな、もうちょっとしてみたいな」という「意欲」を次に育てたい。そして最後は「態度」で、「これをやっているとな面白、もっと知りたいもっと面白い」という心の発達を大切に育てよう。</p>
会長	心情とは「好奇心」と置き換えて良いということか。
委員 (教育・保育部会長)	そうです。「好奇心」のある心、これって面白いっていう心を育てよう。それには、幼児自身が落ち着いて満足していないとその心は動かない。だから、まずは、「心情＝好奇心」、そこから育てていきましょう。
会長	最近、「非認知能力」が大切だと言われているが、「継続力」と言うか、飽きずに続けていく力がとても大切かということここまでは触れていないのか。
委員	「意欲」に当たると考える。自主的に、自分からやってみよう、自分が知りたいという心を育てようという。
会長	他に質問など何か。
委員	<p>このカリキュラムは、非常にわかりやすく、理念だけではなく具体的なところまで落とし込んでおり、特徴的なものではないかと思う。</p> <p>1点、確認したい。「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」</p>

	<p>の説明のあった上のイメージ図（PDFファイル7ページ上段）について、縦軸はあえて1年にしたのか。乳幼児期を通しと考えれば6年間という位置づけなのか。カリキュラムだから1年にしたのか。読んでいて、6年、あるいは就学前を通してでもいいのかと考えるが。部会等では、何か議論はあったのか。</p>
<p>委員 (教育・保育 部会長)</p>	<p>個人的には、委員と同様に考えた。「心情・意欲・態度」は、その日、その時々活動に出るものでもある。現場では、「心情・意欲・態度」をずっと抱きながら教育・保育している。これを一年間と言ってしまうといいのかと。本カリキュラムは、「年間カリキュラム」だからこういう表現なっていると理解した。</p>
<p>会長</p>	<p>実質は、何年かくらいかけてゆっくりと続けていくものと思う。現場でどう使うかということだと思う。 他にないか。</p> <p>ないようなので、お諮りする。 西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)を承認する方は挙手をお願いします。 ～委員挙手多数～ 本会議において、「西脇市就学前教育・保育カリキュラム(案)」は、本案どおり承認する。 他なければ議事(2)にうつる。</p>

(2) 平成29年度からの就学前教育・保育について(報告)

ア 市立幼稚園について

<p>会長</p>	<p>議事(2)の「平成29年度からの就学前教育・保育について(報告) ア 市立幼稚園について」事務局から説明を。</p>
<p>事務局 (学校教育課)</p>	<p>(「資料3」(スライドページP. 11~13)を説明。)</p> <p>最後に、説明した各ページに載っているマークは、しばざくら幼稚園の園章である。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局からの説明について、何か質問などがあればどうぞ。</p> <p>細かなことだが、「幼稚園」でも「保育料」なのか。また、保育料の詳細については、後ほど別に説明があるのか。</p>
<p>事務局 (学校教育課)</p>	<p>「幼稚園保育料」という表現になる。保育料の詳細については、後の議事「ウ 保育料の無償化及び軽減」で説明する。</p>
<p>会長</p>	<p>他にないか。</p>

	ないようなので、次にうつる。
(2) 平成 29 年度からの就学前教育・保育について（報告）	
イ 市内の認定こども園について	
会長	議事(2)の「イ 市内の認定こども園について」事務局から説明を。
事務局 (こども福祉課)	<p>(広報にしわき 10 月号 (4 及び 5 ページ : 施設紹介のページ) により説明。)</p> <p>比延、日野、春日、津万、芳田、黒田庄については現在、認定こども園に向けて施設整備を行っているので、写真ではなく完成予想図、イメージ図を掲載している。また、その 6 施設については、幼保連携型認定こども園の認可が必要となるため、県と協議・事務手続きを行い 9 月に認可の内示が出たところ。</p> <p>認定こども園の概要・詳細については、配付している「広報にしわき 10 月号」の記事、「資料 3 : 就学前教育・保育説明会 (説明スライド資料)」、「資料 4 : 平成 29 年度就学前教育・保育施設教育・保育概要」を参照願う。</p>
会長	<p>事務局からの説明について、何か質問などがあればどうぞ。</p> <p>例えば、認定こども園の幼稚園部が定員オーバーになった場合、振り分けられるのか。また、その場合、教育委員会で振り分けられるのか、それとも保護者が選ぶことができるのか。</p>
事務局 (こども福祉課)	<p>認定こども園の幼稚園部は、各園において入園児を決定することとなる。定員オーバーした場合の決定方法は、地区優先や全体で抽選など個々の園が定めている。</p> <p>保育園部は、市が利用調整し入園決定する。保育の優先順位の高い方から順に入れていくという形で調整する。</p>
事務局 (学校教育課)	教育委員会の方では、「市立しばざくら幼稚園」のみ受付している。(認定こども園幼稚園部の入園受付は、関与していない。)
会長	<p>他にないか。</p> <p>ないようなので、次にうつる。</p>
(2) 平成 29 年度からの就学前教育・保育について（報告）	
ウ 保育料の無償化及び軽減について	
会長	議事(2)の「ウ 保育料の無償化及び軽減について」事務局から説明を。
事務局 (こども福祉課)	(「広報にしわき 10 月号同時配付チラシ (西脇市からのお知らせ)」により説明。)

	<p>無償化及び軽減にあたっては、保育料が経済的に負担が大きいと感じる保護者が少なくない状況であり、市としては、「子育て世代に選んでもらうまち」、「子どもを産み、住み続けたいと思えるまち」を実現していくためにも有効な施策の1つであると考えている。</p> <p>また、対象年齢については、市内の年齢ごとの人口で見た場合に4歳児の97%、5歳児の98%が保育所、認定こども園、幼稚園を利用している現状があるため4歳児・5歳児とした。</p> <p>利用者負担額（保育料）の所得階層区分・年齢区分などの詳細料金については、「資料3」（スライドページP. 24～26）を参照願う。</p>
会長	事務局からの説明について、何か質問などがあればどうぞ。
委員	3歳児の保育料（2号認定）は最高、最低いくらなのか。また、市内の子どもで3歳児の保育の実施は何%なのか。
事務局 (こども福祉課)	<p>3歳児の保育料については、「資料3」の3枚目裏面下段（スライドページP. 24～25）の表のとおり、世帯の市民税の所得割額で段階的に分かれている。</p> <p>生活保護等世帯は、「無償」、次に、市民税非課税世帯が、「4,600円」となっている。表の下段に行く区分毎に市民税額が高く（所得が高く）なっており、最高額が32,900円となっている。</p> <p>また、3歳児の施設の利用率については、約8割、詳細には、平成28年度では78.5%、過去5年を見ると、約70%から約75%と上昇傾向ではあるが、まだ9割には至っていない状態である。</p>
委員	<p>次年度以降の課題として、各委員さんも確認いただきたい。</p> <p>4、5歳児は、認定こども園幼稚園部・幼稚園、認定こども園保育園部でも保育料が最高で5,000円になる。一方で、3歳児は幼稚園の利用をすると6,400円だが、保育園利用の場合は、所得の高い方は32,900円となり、従来の料金設定のままになっており、若干の問題は含んでいると考えている。</p> <p>市内の保育所が認定こども園となり、また、市立幼稚園は3年の複数年教育が始まる。西脇市としては、3年間の複数年教育を推進しているとも考えている。</p> <p>ここ数年においても、3年間保育する方の増加は顕著にあらわれているので、「3歳児の保育料・3年間の保育料」と「教育の推進」が今後の課題であるということを確認したい。</p>
会長	3歳から5歳までの教育が将来にかかわってくるととても大切な時期だと思う。できれば3歳児未満も保育料無料になるともっとありがたいと思う保護者も多いと思うが、市長いかがか。

市長	<p>課題であると考えている。4歳、5歳の保育料無償化するにあたって、来年度以降、他の事業を取りやめてこちらに回していないといけない。</p> <p>3歳児は、利用がまだ80%程度というところで、行政でいう公平性や、次に何を削ればいいのかなど議論が分かれるところでもある。</p> <p>市内でも本当に無償化するべきなのかという意見や質を上げる方に回したらいいのではないかという議論もあった。</p> <p>この決断に至ったのは、若い世代に選んでもらうまちでありたいということと、北播磨地域が4、5歳の無償化が早い時期からスタートしていることを含め、前向きな捉え方をしてこのような決断をしたところである。</p>
会長	<p>苦しい胸の内をありがとうございました。若い世代が西脇市に住みたいと思うようなまちづくりをよろしくお願いします。</p>
委員	<p>大阪府のある自治体では、来年4月から0歳から5歳の保育料を全額無料にする、日本で初めてのことをやると聞いた。</p> <p>このような若い世代への経済的な負担軽減の施策は、少子化対策の1つであり、今、市長が仰られたような都市間競争が確実にある中、西脇市の4、5歳児の保育料無償化は素晴らしいことだと思う。</p> <p>折角いろんな痛みを伴う中でこのような御英断をされたことなので、この施策をうまく発信し、最大効果的にあるいは経済的に意味のあるものにしていく必要があると思う。</p> <p>先ほど、市長からの本施策に至った経緯を聞いて、西脇市が子ども・子育て政策に力を入れており、市全体で子ども達を育てていくという、課題もあり難しいことも多いと思うが、全国的にも素晴らしい取り組みだと思う。</p>
市長	<p>委員からの御指摘をいただいた点もあるが、ぜひご理解をいただきたい。</p> <p>先般、認定こども園・保育所の社会福祉法人の御協力もあり、「西脇市では、認定こども園としばざくら幼稚園によって平成29年度から新たな就学前教育・保育を行います」という新聞広告等を出して、本市の取組みをメッセージとして広く発信させていただいた。</p> <p>西脇市のような小さなまちが、全ての園舎が一斉に新しくなり認定こども園がスタートできる都市は他にはないと考えている。</p> <p>また、これまで教育・保育の部分で保育所と市の間には少し距離があったが、だんだん近づいてきたと思っている。</p>

	<p>逆に言うと認定こども園に協力いただかないと西脇市の教育・保育が成り立たない。</p> <p>官民が一体となり、やっていかないといけないところまで自ら追い込んだ上でやっているというところを、覚悟を決めて、また、逆に言うと認可こども園の方々にも今まで以上に頑張っていたきたいという思いがありますので、御協力の程、よろしく願います。</p>
会長	ありがとうございました。次にうつる。

(3) 就学前教育・保育説明会について（報告）	
会長	議事(3)について、事務局から説明を。
事務局 (こども福祉課)	<p>(「資料2」により説明。 (説明内容)</p> <p>①説明会の日程、説明内容、参加人数等を報告</p> <p>②説明会時における質疑内容を一部紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しばざくら幼稚園の教育と同様に認定こども園においても同じ教育がなされるのか。 ・兄弟姉妹の多子軽減制度という保育料の軽減制度について詳しく教えてほしい。 ・幼稚園の園服や体操服は新たに購入する必要があるのか。
会長	説明をもとに御意見があればどうぞ。
委員	説明会でもあったかもしれないが、しばざくら幼稚園のことでお伺いしたい。夏休みを大幅に短縮された理由は？
事務局 (学校教育課)	夏休みの短縮については、認定こども園も市立幼稚園も同じ教育をしていくため、出来る限り認定こども園と合わせたような状態で日数を確保したいと考えたため短縮した。
会長	他にないか。
委員	<p>先ほど、「都市間競争」という言葉があったが、少子化対策でなく、ただ単に市町の定住人口を増やそうとして、「都市間競争」という名の下の「人」の取り合いのように見えることが多い。</p> <p>ここでは、主に幼稚園や保育所のことが議論される場であることは認識しているが、もしも0歳児から2歳児の保育料が無償化になった場合、預けたがる親が増えることは考えられないか。</p> <p>逆に、低年齢の子どもの立場から考えると、親から離れたくないと思っているのではないかと考える。</p> <p>また、保育料の無償化で、親があまりにも子育てをせずに預け</p>

	<p>るようになってくるのではないかと思う。それを助長するような施策はどうかと考える。</p> <p>西脇市に住めば一生懸命に働くことができ、収入が増えていくというような施策で人口増の方向になればよいのではないか。</p> <p>保育料無償化で、他市町から保育料が安いから西脇市に住もうと安易に考える親たちが転入し「子育てしない親」が増えて、負の連鎖が起こるのではないかと。</p> <p>0歳児から3歳児の保育料を無償化したら恐ろしいことが起こるような気がしてならないが、いかがか。</p>
市長	<p>この間、東京へ陳情に行った際、国土交通省の一階に官僚の方のお子さんのための託児所があった。0歳の子もいて、いろいろな考え方や働き方とかが関係するのかと思いながら見た。このあたり、専門家の先生の御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>先ほどの委員の意見も大事な点かと考える。</p> <p>一部だが子育て支援の議論の中で、子育て支援が親をダメにするというような議論もある。</p> <p>あまりにも手厚くすることで親自身が親として育つ力が弱っていくのではないかという意見がある。一方で、そういうことではなく、すべての子ども達をより質の高い教育・保育環境や子育て支援の中で育てていくことがこの国の将来、あるいはこの西脇市の未来を創っていくことであるということが子育て支援全体では言われているのではないかと考える。</p> <p>その背景には人口減ということがあり、日本の自治体で人口が増えているところは10%も無い。これから増えることはまず基本的には無理な中で、いかに減るスピードを緩めていくか、より若い層や子育て世帯を豊かに育てていくかということが大事。</p> <p>その中でいろんな自治体が費用の問題、教育・保育の質が大事ということで、より丁寧な教育・保育をしていく、それが今回カリキュラムという形に。</p> <p>カリキュラムっていま出てくると当たり前のように思っているかもしれないが、作っていない所もたくさんある。そういう意味では制度と質を整えることによって、西脇市の子ども達をどう育てていくか、反対にそこがすごく良ければまた新たな転入者や教育・保育を求める方が来てくれるのではないか。</p> <p>私自身、他の会議の委員での活動もしているが、その中の調査で、やはり教育・保育環境や教育・保育が充実しているところは少し人口が増えたり、あるいは減少がゆるやかになったりしていることがわかった。その意味では単に教育・保育の問題だけでは</p>

	<p>なく西脇市の将来像に大きく影響を及ぼすのではないかと。 人口が大幅に減少してからいろいろやっても、タイミング的には遅いと思う。このタイミングを逃さない方が良いのではないかと。 と思う。</p>
委員	<p>申し訳ないが、いわゆる「社会で活躍されている方」という方達は、自分達はすごく勉強して社会進出が一番大事だと思っているのではないかと。さらに、その方達が本当の意味での「子育ての大切さ」を分かっていないのに「子育て支援」の施策を作っているように思う。普段、生活していてそう感じる。</p> <p>本当に子育ての大切さを分かっている人達はいかに預けずに乳幼児期を自分で見たいと思っている人だと思ふ。本当に子どもが欲しくて子どもが育てたくて。</p> <p>いろいろな考えがあるが、国会に赤ちゃんを抱っこして、待機児童解消だとか言って、それを見て子どもが可哀想やなってしまう。それは私の感覚がおかしいのか、あの人たちがおかしいのか。</p> <p>また、少子化の問題を考えた場合、人類は、動物的な本能によって命が代々脈々と繋がり、人間の知恵などによって今日のような社会を作ってきたと考える。先進国では少子化が進み、途上国では人口が増加する傾向がある。少子化の原因は、社会の発展に伴う人間の利己的な考え方や文明の発達などなんらかの理由があると思ふ。</p> <p>この会は、「就学前教育・保育」をテーマにそのカリキュラムなどの議論をしているから、それはそれでいいのだが、私は「Mirai (みらいえ)」の子育て学習センターのような親子と一緒に子育てを勉強するところを充実させて、西脇独特のことをする方が西脇市を良いものとしてきてくれるのではないかと。今、これだけ少子化社会となっているのであれば、逆にこうやって人を取り合うような都市間競争よりも、本当の子育ての大切さを西脇市で訴えて、子育ての大切さやカリキュラムみたいなもの、国で作れないものを西脇で作ってアピールした方がよっぽど多くの人が集まるような気がする。</p>
会長	<p>少子化対策の問題は大切であるが、少子化の原因をここで追及するわけもいきませんし、人生多様化されていろいろな考え方がある人が集まってきている。その中で1つの形を作らなくてはいけないのが今回の会議なので、何年もかけて西脇市らしさを出していけたら良いのではないかと個人的には思っている。</p>
市長	<p>本質を仰っていただいて、こういう議論のある会議は素晴らしい。</p>

	<p>先ほど、「Miraie (みらいえ)」の話が出たが、その周辺の「茜が丘」の宅地分譲は市が行っているが、ここ数年間、販売実績はゼロだった。平成 28 年 4 月から 10 月の半年間で 3 区画の販売実績ができた。</p> <p>昨年 (平成 27 年) 10 月に「Miraie (みらいえ)」がオープンし多くの方がお越しになり、施設内容や「茜が丘」の周辺環境を見ていただいたことが売却に繋がったのではないかと考えている。</p> <p>その「Miraie (みらいえ)」にある「こどもプラザ」には、親子連れで多くの利用があり、そのおそらく 3 割くらいは市外から来られている。</p> <p>このような現状から家で子育てをしたいという保護者の方にも「こどもプラザ」のような良い場所を提供したいとも考えている。</p> <p>また、「いや、私は働きたい」と「子ども達にも良い環境を与えたい」という保護者にも良い環境を与えたい、その選択肢を両方持ってもらえるような施設なり市になっていかないとと思っているので、また御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>先ほどの委員の意見は、よくわかる。私は、今日の会議のこれまでの中で、「ああ」と思ったことがあった。</p> <p>最初の方にあった「心情ってなんですか」、「幼稚園でも『保育料』でいいのですか」というような意見は専門家の立場からはたぶん出てこない意見です。それは当たり前と思っているから。</p> <p>また、先ほどの少子化の意見は、市長が仰ったように本質的な議論で、少子化に対して学問がなかなか十分に発揮できていないとの指摘はそのとおりである。「これだけいろんなことをしても少子化が進んでいるのはなぜ」という話に答えを出せないわけですから。</p> <p>ただ、市民の方から出てくる意見、西脇らしい子育てとは何かということの議論、専門家だけが考えていく子育て支援や保育政策ではなくて、市民の方が考えていくような、まさにこういう会議の中で出てきた意見、また、昨年、私が所属する N P O で「Miraie (みらいえ)」でイベントやらせてもらい、300 人くらいの方に来ていただいたが、そのようなイベントを通じて、いろんなお父さん、お母さんと話をしながら出てきた現場での意見なんかをこれからどう具現化していくかがすごく大事なのかなと改めて思った。</p>
会長	<p>これから西脇らしさを求め、この会議でも話していけたらと思う。この話題も尽きないと思うので今回はこれくらいで。次にう</p>

	つる。
--	-----

(4) その他
ア 子どもの貧困対策について

会長	議事(4)について、事務局から説明を。
事務局 (こども福祉課)	<p>(「資料5」により「子どもの貧困対策について」概要説明。 (説明内容)</p> <p>①日本における子どもの貧困の状況 ②子どもの貧困対策に関する国の動き ③「子どもの貧困対策に関する大綱」について)</p> <p>西脇市の取組みとしては、国の大綱を受けて今から実施検討をしていくというような状況である。</p> <p>これまでは、経済的に困窮する世帯など、特に支援が必要である児童に対しては、児童の状況の把握や支援方法などを関係機関が集まり検討し、個別に対応していた。</p> <p>今回のこの大綱を踏まえ、全ての子ども達が夢と希望を持って成長していけるように、市では来年度以降、市内の実態調査とその分析を行う必要があると考えている。</p> <p>実際に議会でも、「報道などにある、都会を中心にこども食堂というような取組みが進んでいるが、西脇市で、そういった取組みが必要な状況はあるのか」というような質問もあった。</p> <p>具体的な方法は今からだが、委員の皆様方、普段身の回りや近所など実態の有無などを気に掛けていただき、本市における取組みなど、次回以降のこの会議で御意見などをいただきたいと考えている。</p>
会長	<p>最近の小児科の話題というのも発達障害の問題と虐待の問題がある。</p> <p>虐待問題を取り上げると必ずと言っていいほど、子どもの貧困にぶち当たる。どういう形で、みんな連携して守っていくのかということが今一番大きな課題となっているので、こうした会議で取り上げてもらえるのは個人としてはありがたいし嬉しいことだと思っている。</p> <p>今後、具体的なことは次回の会議で示されると思うが、こういうことが一番問題になっていることを気にかけていただき、私も含め委員の皆様も勉強していただけたらと思っている。</p> <p>以上をもって本日予定していた議事を全て終了した。 議事進行への御協力ありがとうございました。事務局へ返す。</p>

事務局	(事務局から事務連絡等。)
-----	---------------

4. 事務連絡

5. 閉会

教育長あいさつ